

		1992年	1995年	2000年	
	事業主体	STEP 1	STEP 2	STEP3	概算事業費
1. モニュメント					
プラザモニュメント		■■■■■	■■■■■		約3億円
アートコラム		■■■■■	■■■■■		約1億5千万円
2. ペーブメント					
街路舗装		■■■■■			約3億4千万円
バス停舗装		■■■■■			
車道交差部舗装		■■■■■			
プラザ舗装		■■■■■	■■■■■		
3. グリーンフラワー					
ポット植栽		■■■■■			約1億円
街路植栽		■■■■■			
プラザ植栽		■■■■■			
灌水システム		■■■■■			
4. ファニチャー					
ベンチ		■■■■■			約2億円
バス停		■■■■■			
TELボックス		■■■■■			
プラザファニチャー		■■■■■	■■■■■		
5. サイン					
拠点サイン			■■■■■		約1億1千万円
バス停サイン		■■■■■			
6. モールライト					
モールライト		■■■■■			約8千万円
7. 交通関係					
信号・標識		■■■■■			
街路灯（車道分）		■■■■■			
8. 車道歩道化					
車道歩道化			■■■■■	■■■■■	
9. 個店改装					
ファサード		■■■■■	■■■■■		
シャッター		■■■■■	■■■■■		
10. 回遊計画					
回遊計画			■■■■■	■■■■■	

おわりに

今後の展開

この計画は5商店街の要請をうけ、宮崎に愛着を持ち活動している各分野の専門家があい集い、デザインプロジェクトチームを結成し、約1年の歳月をかけてまとめたものである。

さきに述べたように、途中いろいろ現実的な面への対応があった。全体基本計画が確立されないままに実施されていくことへの対応に、抵抗もあり、疑問もあり、戸惑いもあり、憤りもあったが、根気強くそれなりに答えてきたのは、ひとえにメンバーひとりひとりの宮崎への熱い思いであり、一市民としてまた専門家としての責任の発露であったと思う。

この地において、地元の発意で地元の人々が中心になって、この種の計画がまとめられたのは希有なことではなかろうか。多々稚拙な点や表現不足、指摘や提案不足もあるかも知れないが、この計画をもとに、実現化に向けて地元商店街は、一致団結し推進していくことが必要である。また、商店街だけでなく行政及び関係機関もこぞって協力し、よりよき街づくりのモデルをつくっていくことが、宮崎にとって今何よりも大切なことである。

そのためには、粘り強い継続の精神をもって、これを推し進めるべき強力な組織づくりが肝要である。

これからの展開のための資料として、各事業の項目と実施されるべき時期、そしておおよその概算工事費をリストにして示した。事業主体については各種の条件や立場もあるであろうから、敢えて空欄にしているが、まずここから議論、検討していくべきと思っている。

一方、この橘通を市民と一体になった、宮崎の国際化を具現する一つの場として定着させていきたい。

県内44市町村や九州各地、全国津々浦々、そしてアジアを中心にした世界各国から、多くの人々をはじめ、ゆかりの品々、歴史、アート等々に参加してもらい、何よりもこの通り、この街に世界の同胞の心をうずめて貫くことを継続していくべきである。

そのためには、Never Ending Cycleをもとに、人と自然と歴史のテーマの展開として精神性をもった100本のアートコラムを軸にした、市民、県民、国民、世界のメモリアルロードにするべきであろう。